

早稲田大学大学院アジア太平洋研究科 専任教員募集要項

早稲田大学大学院アジア太平洋研究科(GSAPS)は、下記の要領にて専任教員を募集します。

記

1. 募集領域 アジア太平洋地域に関する社会科学的研究

次の5つのキーワードのうち2つ以上組み合わせた領域（日本からの視点・関係性が含まれることが望ましい）で社会科学的手法によって研究と研究指導を行える教員を募集します。

※キーワード：「アジア」「グローバルヒストリー」「テクノロジー」「政治」「社会」
（例：「日本とアジアに焦点を当てたグローバルヒストリー」、「アジアにおけるテクノロジーと社会」など）

2. 募集方法 公募による

3. 採用人数 1名

4. 採用予定日 2026年4月1日（もしくはそれ以降で合意できる日）

5. 資格 教授または准教授（専任）

6. 担当予定業務

- 1) 応募者の研究領域に関連する講義科目、修士課程および博士後期課程の研究指導
- 2) 大学院アジア太平洋研究科およびアジア太平洋研究センターの研究・教育活動
- 3) 大学及び大学院アジア太平洋研究科・アジア太平洋研究センターの運営業務

7. 待遇等

- 1) 勤務時間等：所定労働日および勤務時間（始業・終業時刻、休憩時間）等は、本学規程による。なお、専門業務型裁量労働制（みなし労働：1日8時間）を適用し、研究業務の性質上、業務遂行の手段及び時間配分の決定等については本人の裁量に委ねるものとする。

- 2) 給与・諸手当・通勤費等：本学規程による。

※40歳 モデル賃金（2024年度例） 約 10,000,000 円（税込）

- 3) 退職金：支給する。

- 4) 社会保険：厚生年金、健康保険、労災保険、雇用保険
- 5) 休日：土曜日、日曜日、年末年始、国民の祝日、国民の祝日の一部に授業を実施することにより設ける臨時の休業日および大学創立記念日。ただし、大学があらかじめ授業を実施すると定めた日を除く。
- 6) 休暇：労働基準法等法令に定められた休暇および大学が特に定めた日
- 7) 定年：満 70 歳

8. 採用条件

- 1) 原則として応募時点で博士学位を有すること。
- 2) 早稲田大学大学院アジア太平洋研究科の修士課程および博士後期課程の研究指導、講義科目を担当できる十分な期間の研究教育上の経験および実績を有すること。
- 3) 博士後期課程で研究指導を担当できる十分な質および量の研究業績を有すること。

(教授で採用する場合)

邦文もしくは英文による既刊研究論文 12 本（博士論文は含まない。うち少なくとも 3 本は評価の高い学術誌に掲載された査読付き論文であること。なお、学術研究書単著 1 冊は 4 本分の研究論文とみなす）以上の研究業績を有すること。但し、未刊行研究論文でも、採用・刊行が決定していることを証明できる場合は、既刊とみなす。また、邦文および英文両方の研究論文を有することが望ましい。

(准教授で採用する場合)

邦文もしくは英文による既刊研究論文 7 本（博士論文は含まない。うち少なくとも 3 本は評価の高い学術誌に掲載された査読付き論文であること。なお、学術研究書単著 1 冊は 4 本分の研究論文とみなす）以上の研究業績を有すること。但し、未刊行研究論文でも、採用・刊行が決定していることを証明できる場合は、既刊とみなす。また、邦文および英文両方の研究論文を有することが望ましい。

※ただし、採用時の資格は選考によって判断する。

- 4) 科学研究費補助金など競争的外部研究資金を代表者として獲得した実績、もしくは同等の優れた職務経験を有すること。
- 5) 日本語および英語の両方で授業を担当できること。但し、特に顕著な研究業績もしくは経歴を有する場合は、この限りではない。
- 6) 早稲田大学大学院アジア太平洋研究科およびアジア太平洋研究センターなどの業務運営の諸役職・委員等を、責任をもって遂行できること。
- 7) 早稲田大学大学院アジア太平洋研究科およびアジア太平洋研究センターの研究・教育活動に貢献できること。

9. 提出書類

- 1) 自薦書 テーマ：「アジア太平洋研究科にどのような貢献ができるか」
“8. 採用条件”に記載されている項目に沿って、アジア太平洋研究科にどのような貢献ができるか具体的に記載してください。また、担当可能科目についても触れてください。(2,000字以内)
- 2) 履歴書（写真貼付、早稲田大学所定書式による）
※E-Mail アドレスを明記すること。
- 3) 教育研究業績リスト（早稲田大学所定書式による）
「履歴書」、「教育研究業績リスト」書式は、以下からダウンロード可能です。
<https://waseda.box.com/s/1squefjipr4sz3qk57gueknq2ipm12ao>
- 4) 8. 採用条件・3) に該当する研究書、研究論文のうち代表的なもの 5 点まで
- 5) 最終学位の学位記の写し
※紛失等の理由で提出が難しい場合には、卒業証明書の写しを提出してください。

10. 応募締切 2025 年 4 月 17 日（木）17：00（日本時間）

11. 選考方法 書類審査に合格した方を対象に、二次審査として、応募者の研究紹介、模擬授業、質疑応答、及びアジア太平洋研究科所属教員との懇談（軽食有）を行います。二次審査は、原則として対面にて早稲田大学早稲田キャンパスにて行い、2025 年 6 月 29 日（日）、7 月 5 日（土）、または 7 月 6 日（日）での実施を予定しています（1 候補者あたり半日程度）。
※二次審査は原則上記の日程での実施を予定しておりますが、やむを得ない事情があると判断した場合、6 月 30 日（月）～7 月 4 日（金）の間に予備日を設定し、実施を検討します。応募フォームに二次審査の参加可能日程のアンケート項目がございますので、こちらのご回答をお願いいたします。
※二次審査参加にあたっての早稲田大学早稲田キャンパスまでの交通費及び、宿泊を要する場合の宿泊費については、本学規定等に基づき本学が負担します。また、二次審査の懇談にあたっての軽食は本学にて負担・用意します。その他にかかる経費等は応募者自身の自己負担とします。
※交通費・宿泊費等の支給条件や、二次審査の詳細については、書類審査合格者にご連絡します。

12. 応募方法

下記の応募フォームに、提出書類を PDF 形式にて添付の上ご応募ください。

郵送での応募は受け付けておりません。

応募フォームへのリンク：<https://x.gd/X6WMd>

※研究業績のうち、書籍等、添付ファイルで提出することが出来ないものについては郵送での提出を可とします。その場合は、封筒に「専任教員応募書類(研究業績)在中」と朱書し追跡番号がわかる形で下記の住所に送付してください（**応募締切必着**）

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-21-1 早大西早稲田ビル 7 階
早稲田大学大学院アジア太平洋研究科事務所「専任教員採用担当」宛

1 3. 勤務地

原則として、

早稲田大学大学院アジア太平洋研究科・アジア太平洋研究センター
(〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-21-1)

1 4. 注意事項

- 1) 面接の時間帯等については、面接対象者のみに 2025 年 6 月 10 日（火）ごろに応募申請フォームに入力された E-Mail アドレスに通知いたします。
- 2) 応募の秘密は厳守いたします。また、提出された書類は選考以外の目的には使用いたしません。なお、一度提出された書類は理由の如何に拘わらず返却いたしませんので、予めご了承ください。

1 5. お問い合わせ先

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-21-1 早大西早稲田ビル 7 階
早稲田大学大学院アジア太平洋研究科事務所 教員人事係
Tel: 03-5286-3877 E-mail: gsaps-recruit☆list.waseda.jp
(☆を@に置き替えて送信してください)

1 6. その他

早稲田大学キャンパス内は指定屋外喫煙場所を除き、全面禁煙です。

◆早稲田大学は、ダイバーシティ&インクルージョンの実現を推進しています。教員採用・昇進の人事審査において、性別、障がい、性的指向・性自認、国籍、エスニシティ、信条、年齢を理由とするいかなる差別も行わないことを申し合わせています。